

令和5年度 大多喜町 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
実施事業及び検証シート

計画 No	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費(円)				事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業経費内訳	成果・検証 ①成果(具体的に数値を記載) ②検証(評価)	課題及び方向性 ①課題 ②今後の方向性	所管課
			国庫 補助額	コロナ交付金 充当額	一般財源	その他財源						
1	令和5年度大多喜町電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金【低所得者世帯給付金】	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持する。 ②負担金補助及び交付金 ③令和5年度分の住民税非課税世帯	26,520,000	26,520,000			R5.6.12	R5.12.27	・給付金:26,520,000円(884世帯)	①低所得世帯へ1世帯あたり30,000円を支給したことで物価高騰対策の経済的支援の1つになったと推測できる。 ②低所得世帯へ1世帯当たり30,000円を支給したことで物価高騰対策の経済的支援の1つになったと推測できる。	①具体的に給付金の効果が各家庭で得られたか数値では表せない。 ②物価高騰の影響を受けている非課税世帯以外の世帯への支援も必要と考える。	健康福祉課
2	令和5年度大多喜町電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(事務費)	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける低所得世帯への支援を行うことで、低所得の方々の生活を維持するにあたって必要な事務経費 ②職員手当等、需用費、役務費、委託料 ③令和5年度分の住民税非課税世帯	1,316,824	1,316,824			R5.6.12	R6.2.20	・時間外勤務手当:114,618円 ・消耗品費:32,215円 ・郵便料:216,951円 ・口座振替手数料:97,130円 ・システム改修委託料:855,910円	①低所得世帯へ1世帯あたり30,000円を支給したことで物価高騰対策の経済的支援の1つになったと推測できる。 ②低所得世帯へ1世帯当たり30,000円を支給したことで物価高騰対策の経済的支援の1つになったと推測できる。	①具体的に給付金の効果が各家庭で得られたか数値では表せない。 ②物価高騰の影響を受けている非課税世帯以外の世帯への支援も必要と考える。	健康福祉課
3	電子地域通貨プレミアム付与事業	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける消費者支援及び地域経済の活性化を図るため、地域通貨チャージ金額に対して10%をプレミアムポイントとして付与する。(チャージ総額500,000千円) ②報償費 ③地域通貨チャージ者	525,951,953	32,235,861		493,716,092	R5.4.1	R6.3.31	・地域通貨利用協力金(地域通加盟店への地域通貨使用実績に伴う支払い):525,951,953円	①チャージ金額に対してプレミアムポイントを付与し、期間限定ポイントとすることで落ち込んだ消費に対して短期間で地域経済を活性化すべく事業を実施した。 ②プレミアム分5,000万円の付与は予算額に達し3月中旬で終了となった。町内加盟店において、プレミアム分を含めた5億円を超える利用があり、消費喚起を促すことで地域経済の活性化と地域通貨の浸透が図られた。	①地域通貨取扱店の増加と利用者の継続的な利用が課題である。 ②更なるキャンペーン等を実施し、地域通貨の定着を図っていく。	財政課
4	プレミアム付き商品券発行事業	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける消費者支援及び地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券を発行する。(商品券販売金額40,000千円) ②負担金補助及び交付金 ③プレミアム商品券使用者	3,988,000	3,988,000			R5.5.2	R6.3.22	・プレミアム商品券発行事業への補助金:3,988,000円 【当初町補助金額×(回収総額÷発行総額) 4,000千円×(43,874千円÷44,000千円)】	①参加取扱店118店舗に対し、販売総額44,000,000円(内プレミアム分4,000,000円)となり、町内事業者への経済波及効果があった。 ②コロナ禍において消費需要が低迷する中、プレミアム商品券の発行事業の実施に伴い、消費需要の喚起につながった。	①電子地域通貨への移行が課題である。 ②プレミアム商品券から電子地域通貨への移行に伴い、電子地域通貨利用客の増加を図っていく。	商工観光課
5	高校生等医療費助成事業	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、子ども医療費助成の対象とならない高校生等に対して、医療費を助成する。 ②役務費・委託費・扶助費 ③町内に居住する高校生等の保護者	2,674,632	2,674,632			R5.4.1	R6.3.31	・システム改修料:385,000円 ・郵便料:29,430円 ・審査手数料:20,131円 ・高校生医療費:2,240,071円	①高校生の医療無料化について、4～9月診療分は償還払いで、10月分からは受給券方式による現物給付で実施した。 ②高校生が医療にかかりやすい体制ができた。	①高校生が医療にかかりやすくなった分、医療費の増額が見込まれる。 ②子育て支援の一環として、継続実施	健康福祉課
6	学校給食費支援事業	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける子育て世帯を支援するため、学校給食費の物価上昇分を補助する。 ②負担金補助及び交付金 ③町内に居住する小中学生の保護者(教職員は補助対象から除く)	5,119,390	5,119,390			R5.4.1	R6.3.31	・小中学生(公立):4,675,150円 ・中学生(私立):444,240円	① ・小中学生(公立)1食あたり50円充当93,503食分 ・中学生(私立)1食あたり30円充当14,808食分 ②交付金を充当することにより、栄養基準を満たした給食を提供できた。	①脂材料については、常に価格変動されるため、年度当初に、価格高騰額を算出することが難しい。 ②今後の状況に応じて、支援を検討する。	教育課
7	子どもの成長応援臨時給付金(乳幼児分)	①コロナ禍における物価高騰の影響を受ける子育て世帯(乳幼児)を支援するため、臨時給付金を支給する。 ②負担金補助及び交付金 ③町内に居住する乳幼児の保護者	2,119,117	2,119,117			R5.7.1	R6.3.31	・支給額:1,920,000円(192人×10千円) ・システム改修費:98,012円 ・郵便料:10,828円 ・時間外手当:30,205円 ・会計年度任用職員報酬:56,796円 ・旅費(費用弁償):3,276円 (子どもの成長応援給付金(小中学生)と人数で按分)	①乳幼児に給付金を支給することで、子育て支援の1つとなった。 ②給付金により家庭への経済的な支援がどの程度図られたか評価できない。	①給付金により家庭への経済的な支援がどの程度図られたか評価できない。 ②継続予定なし	健康福祉課
8	学校保健特別対策事業費補助金	①学校における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費(空気清浄機・網戸工事)を補助する。 ②備品購入費・工事請負費 ③地方公共団体	1,786,725	450,000	450,000	886,725	R5.6.19	R5.11.13	・西小(網戸設置):375,045円 ・大多喜小(網戸設置):1,268,080円 ・西小(空気清浄機):143,600円	①各小学校の教室・廊下に網戸の設置を行った。西小学校の音楽室へ空気清浄機を購入した。 ②各小学校すべての教室に網戸を設置することができたため、換気が行いやすく、よりよい教育環境の整備につながった。	①各小学校、廊下への網戸の設置ができていないところがある。 ②各小学校の廊下へ網戸の設置を行い、より換気のしやすい環境にしていきたい。	教育課
9	学校保健特別対策事業費補助金	①学校における新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るため、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費(網戸工事)を補助する。 ②工事請負費 ③地方公共団体	852,060	340,000	340,000	172,060	R5.12.18	R6.2.28	・大多喜小(網戸設置):852,060円	①大多喜小学校の教室・廊下に網戸の設置を行った。 ②各小学校すべての教室に網戸を設置することができたため、換気が行いやすく、よりよい教育環境の整備につながった。	①各小学校、廊下への網戸の設置ができていないところがある。 ②各小学校の廊下へ網戸の設置を行い、より換気のしやすい環境にしていきたい。	教育課
			570,328,701	790,000	74,763,824	1,058,785	493,716,092					